

令和7年度 石岡市立小桜小学校グランドデザイン

<本県教育の目標>

- ◎ひとりひとりの能力を開発し豊かな人間性をつちかう
- ◎じょうぶな身体をつくりたくましい心を養う
- ◎郷土を愛し協力しあう心を育てる

<基本理念>

「活力があり、県民が日本一幸せな県」

<石岡市の基本目標>

「ふるさとに学び 夢にはばたく 輝くひとづくりのまち」

<石岡市の目指す児童像・生徒像>

「協働」「自律」「自他の尊重」

学校教育目標

豊かな心を持ち、たくましく生きる児童の育成

組織目標：自ら判断し、主体的に行動できる児童の育成

自他のよさに気付く力・自分で判断し決める力・自分から動く力・やり直す力

<目指す学校像>

- 家庭や地域と連携し、信頼される学校
- 「私が」ではなく、「私たちが」楽しい学校
- 驚きや感動を伴う教育活動を展開する学校
- 児童が元来もっている好奇心や向上心を引き出す学校

<目指す児童像>

- 感じる心を持ち、気付いて行動できる児童
- 相手の話に耳を傾けることができる児童
- 相手意識をもって自分の考えを伝えることができる児童
- 自分の可能性を信じ、挑戦し続ける児童

<目指す教師像>

- 児童の話にじっくり耳を傾ける教師
- 児童の未来を見つめることができる教師
- 温かさや厳しさを併せもつ教師
- 学び続けることができる教師

知

～確かな学力の育成～

◎主体的・対話的で

深い学びの視点に立った授業づくり

- 問いを生む教材との出会わせ方の工夫
- ペア・グループ活動の充実
- 表現活動の充実

◎個別最適化した

学びを実現する学習環境づくり

- 特別支援教育の視点に立った授業づくり
- 自主学習の推進
- 自主的な学習計画の作成

◎地域と連携した多様な体験学習の実施

- 郷土の教育資源を活用した授業づくり
- 読書推進のための工夫
- 体験活動を活用した家事の習得

<達成目標>

- ・様々なアウトプットの方法を知り、自分の考えを表現できる。 90%
- ・進んで自主学習に取り組める。 90%
- ・体験学習を通して、地域のことを詳しく知ることができる。 85%

徳

～豊かな心の育成

◎「感動を伴う学びの場の充実」と

「自律できる子ども」の育成

- 学級活動・委員会活動の充実
- 縦割り班活動の充実
- 日本・世界に目を向ける教育活動の充実

◎道徳教育と人権を重視した教育の充実

- 「考え、議論する道徳」への質的転換の推進
- コミュニケーション能力向上の推進
- 人権尊重を意識した人権教育の充実

◎外部・地域との交流推進

- 地区と連携した行事の活用(運動会・文化祭)
- 感性を磨く機会の充実

<達成目標>

- ・自分の役割を自覚し、遂行することができる。 85%
- ・自他の良いところに気付くことができる。 85%
- ・地域連携の行事を通して、地域の一員として活動することができる。 85%

体

～健やかな体の育成～

◎たくましい心身を育む場の充実

- 運動量を確保する体育授業の充実
- 業間休み・昼休みの外遊びの奨励
- 地域スポーツへの積極的参加

◎健やかな心身を育む場の充実

- 児童目線による安全点検の実施
- 薬物乱用防止教室、性教育等の推進
- 危機管理能力を高める
- 栄養教諭による食に関する指導の充実
- 養護教諭による健康教室の充実

◎メディアとの正しい付き合い方

- 自分を客観的に見られる児童の育成
- デジタルシチズンシップ教育と作成したルール遵守

<達成目標>

- ・休み時間には積極的に体を動かしている。 85%
- ・健康に気をつけて、生活することができる。 85%
- ・各家庭で作成したメディア使用時のルールを守ることができる。 90%

【家庭・地域との連携】

※PTA、育成会、地区公民館、青少年を育てる石岡市民の会、社会教育団体と連携

- 地域との連携を強め、健全で自律できる子どもを育てる。
- 地域との関わりあいから郷土愛のある子どもを育てる。
- コミュニケーション力を身につけさせ、魅力あふれる人に育てる。

【教職員の資質・能力向上】

- 学習の個別化・個性化を図るため、積極的に一人一台端末を活用する。
- デジタルシチズンシップ教育を推進する。
- 業務の効率化を図り、ワークライフバランスをとりながら、児童と向き合う時間を生み出すための働き方を推進する。
- 信頼をベースとした教育活動の展開と、そのためのコンプライアンス意識の高揚を図る。